株式会社大塚製薬工場
大塚ホールディングス株式会社

NEWS RELEASE

2011 年 10 月 19 日

報道関係各位

大塚製薬工場、Living Cell Technologies Limited と 糖尿病治療用バイオ人工膵島の開発・事業化合弁会社設立に合意

株式会社大塚製薬工場（本社：徳島県鳴門市、代表取締役社長：大塚一郎、以下「大塚製薬工場」）は Living Cell Technologies Limited（本社：ニュージーランド・オークランド、Medical Director & CEO：Robert Elliott、以下「LCT社」）と合弁による新会社「DIATRANZ OTSUKA LIMITED」の設立に合意したことを、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 設立の背景

大塚製薬工場は、本年 4 月 12 日に発表いたしましたように LCT 社の増資引き受け（普通株式 2,500 万株（0.12 オーストラリアドル/株））を行い、LCT 社が開発する糖尿病治療用のバイオ人工膵島「DIABECELL®（ディアベセル）」について、独占的な開発・販売権を得るための独占交渉権を有しておりました。今般、LCT 社と連携を図ることにより、「DIABECELL®（ディアベセル）」の糖尿病およびその合併症の予防・治療を目的とした研究開発・事業化をより一層促進することができると考え、合弁会社設立に合意いたしました。

2. 新会社の役割

糖尿病には様々な治療法が存在しますが、これらの治療法では十分な効果が得られない多くの重篤な患者さんがいらっしゃいます。新会社は糖尿病治療のために、細胞治療という新しい方法を開発してまいります。

3. 新会社の概要

商号	:	DIATRANZ OTSUKA LIMITED （ダイアトランズオーツカ リミテッド）
主な事業内容	:	DIABECELL®の臨床開発、製造、商業化等
事業化地域	:	全世界（中国を除く）
設立日	:	2011 年 11 月 1 日（予定）
所在地	:	ニュージーランド
資本金	:	5,000 万オーストラリアドル
代表者	:	大塚製薬工場もしくは LCT 社から選出
役員	:	大塚製薬工場から 2 名、LCT 社から 2 名選出
出資比率	:	50：50
大塚製薬工場出資金額	:	2,500 万オーストラリアドル

大塚製薬工場は、LCT 社との合弁事業により、このバイオ人工膵島「DIABECELL®（ディアベセル）」の研究開発・事業化を推進することを通じて、新たな糖尿病治療の選択肢を提供できるよう努め、再生医療領域における研究開発を強化し、日本のみならず国際的に積極的な事業展開を進めてまいります。

大塚製薬工場は、「Otsuka-people creating new products for better health worldwide」の大塚グループ企業理念のもと、世界の人々の健康に寄与してまいります。

会社概要

Living Cell Technologies Limited

設立	:	1987 年
資本金	:	52,430,728 オーストラリアドル （オーストラリア証券取引所（ASX）に上場）
代表者	:	Robert Elliott, Medical Director & CEO
本社所在地	:	19 Laureston Avenue, Hunters Corner, Manukau 2155, Auckland, New Zealand
従業員数	:	56 名
事業内容	:	カプセル技術を応用した細胞治療の開発

株式会社大塚製薬工場（Otsuka Pharmaceutical Factory, Inc.）

設立	:	1921 年 9 月 1 日
資本金	:	8,000 万円
代表者	:	代表取締役社長　大塚一郎（おおつか　いちろう）
本社所在地	:	〒772-8601　徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原 115
従業員数	:	2,504 名（2011 年 3 月 31 日現在）
事業内容	:	医薬品、栄養製品の製造・販売